

地域学校協働連携NEWS



こちらのQRコードから、閲覧・ダウンロードができます→

駒止湿原 探索

～ 荒海小学校 ～

6月17日(月)、荒海小学校4年生による駒止湿原探索の様子取材しました。荒海小学校では、総合的な学習の時間において「地域の宝を訪ねよう」をテーマに、地域の名所を訪ねたり、体験したりしています。当日は「駒止湿原案内の会」の方3名に、湿原の様子やそこで見ることのできる貴重な動植物について教えていただきました。湿原を白色に彩る可憐なワタスゲをはじめ、レンゲツツジやヒオウギアヤメなどの植物とガイドブックを見比べながら、講師の先生の話に真剣に聞き入る荒海小学校の子供たちの姿が見られました。



当日案内をしてくださった「駒止湿原案内の会」の渡部兵一さん、星正人さん、渡部仁さん（左から）



ブナの木の音を聞いたよ！



満開のワタスゲを見ることができました。ラッキー。



ガイドブックで調べてみよう。



教えていただいたマナーを参考に次のグループに道を譲りました。



モリアオガエルの卵を発見！よく見つけたね。



学校で行った事前学習で教えていただいた内容を、今回現地で生で見ることができました。学校にとって「駒止湿原案内の会」の皆さんのご協力は、連続した学習ができる点でもありがたい存在です。植物はもちろん、生き物が好きな子もいるので、今回の野外活動に子供たちはとても楽しそうに取り組んでいました。
＜4年担任 渡部先生＞

＜子供たちの声＞

- ・ワタスゲがいっぱい咲いていてきれいでした。感動しました。
- ・草花の種類がたくさんあるし、空気もおいしいし、自然がいっぱいで駒止湿原はすごいところだなと思いました。
- ・エゾイトトンボを見ることができてラッキーでした。

透き通るような青空と木漏れ日、枝葉が風に揺れる音、ウグイスなどの野鳥のさえずり…。事前学習やガイドブックで見た情報でも、自分の足で現地に立ち、五感を使って身体いっぱいに自然を感じながらその地の動植物を確かめることが自然体験活動のよさの一つです。

域内にはこのようなすばらしい教育資源がたくさんあります。地域の方との協働を図りながら、子供たちに南会津ならではの豊かな体験活動と学びを提供していくことの大切さと意義深さを再認識しました。